

第4回城東学園新たな学園づくり地域検討委員会 概要

日 時	平成30年5月23日（金）19:00 ～ 20:30
場 所	大東北公民館会議室
出 席	委 員 28人 事務局 教育長、教育部長、企画政策課長、学務課長、学校教育課長、 学校教育課指導主事、教育政策室長、教育政策室係長、 教育政策室指導主事
内 容	
<p>1 開 会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 委員長あいさつ</p> <p>4 新規委員の委嘱</p> <p>5 自己紹介</p> <p>6 報告事項</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 第3回地域検討委員会について ※事務局より説明</p> <p>7 協議事項</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 城東学園の小中一貫教育の研究状況について ※城東中学校 鈴木校長より説明</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 小中一貫教育についての意見交換（グループ協議）</p> <p>【Aグループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城東学園として小中一貫教育を推進するにあたり、コミュニケーション力を高めていく研究をしている。そのためには、3小学校の連携を深め、一緒に交流等行っていきたい。 ・子どもたちの交流を図るためには、教員同士の打合せ時間が必要であるが、その時間を生み出すことが難しい。その時間の確保をしなければいけない。 ・園児と小学生の交流がある。今まで以上に増やしていくことは難しいが、できるだけ一緒に交流することにより、園児が小学校に進学する際の安心感が生まれる。 ・園同士の交流は、距離があるので簡単に行くことは難しい。 ・3小学校の交流を図る際は、市のバスを活用しているのか。移動時間がかかることが予想できる。分離型ではなかなか難しいと思う。 ・今年度から、3小学校の各学年で交流を行う計画をしている。しかし、移動手段は大きな課題となっている。 ・子どもが自然教室に行き、他の学校の子たちの良い点を見つけたり、自分たちの良さを再発見できたりしている。 ・中学生が園に行つて、ボランティアを行っている。そのボランティアを認定するような仕組みがあると良い。また、スーパーで会ったときなど声を掛け合えてとても良い雰囲気である。 ・まちづくりの視点では、今、地区の大人と子どもたちが一緒になって地域主催の研修会に行くなど、地域が一体となった体制づくりをしている。センター祭りは大賑わいとなった。 ・スポ少の野球は2校合同で行っており、低学年から縦と横のつながりができている。 ・これまでの連携の成果が出ている。学校や地域ともに、日常的に関わりがあることから、中学校へも安心して進学できる。 ・人と人とのかわりは、あいさつが基本。あいさつを他地区へも広げ、大切にしていきたい。 	

【Bグループ】

- ・15年間の連携であり、幼稚園と中学校の交流などの活動ができれば良いと思う。現在中学2年生が幼稚園児との交流を行っている。
- ・中学校の教員が、ボールの投げ方を園児に教えたり、中学生が職場体験と一緒に園児と遊んでくれている。園行事などにもボランティアで参加してくれるとありがたい。
- ・保護者説明会で出た意見はどんな意見だったのか。具体的にどこに学校を作るのかという話が聞こえてくる。体育館等老朽化が進んでいるため、何とかしてあげたい。
- ・いつどこに学校を建設するのかが分からないと意見が出しにくい。案を出してほしい。
- ・保護者説明会の意見としては、見守りがなくなるのが寂しいので反対という意見もあった。建設時期として、早くて5年後くらいと聞いている。一体型を作るなら、こども園と同じ時期では財政上厳しいと考えられる。
- ・一体型を作ることに賛成である。先生の余裕が生まれ、子どもたちの心にゆとり生まれる。
- ・一体型が良いと思うが、具体に対して意見を出しやすい。
- ・320人体制のこども園と東京女子医科大学の撤退もある。一体型の具体案がほしい。学校がなくなるのは寂しいが、考えていくべき。
- ・一体型を前向きに考えていくべき。地域の教育力を生かして進めていきたい。
- ・小中一貫教育の教育の中身は分からないし、意見も難しい。これは学校や教育委員会に任せることが良い。
- ・施設の問題に対して、現状で良いのか、変えなければいけないのか。実際にはこの施設の問題が大きい。
- ・一体型に反対する人は少ないのではないか。
- ・次回から、より具体的に施設の型を話し合いたい。教育の内容は学校や市教委で行い、これまでの良さや一貫の良さを生かしてもらおう。

【Cグループ】

- ・委員として、1年ごとに代わる区長が入ってもどうなるものでもない。まち協の役員とか継続的に出る方が意味がある。
- ・6年生で夢学習をやった。自分と他の2人で1時間ずつ講話をした。工場経営している方の話と、シオーネの管理をしている方と、自分は鉄道に勤めていたので、鉄道は一人では動かないよという話をした。3年生は八坂神社のお祭りのこと、幼稚園はザリガニやメダカ取りをやった。奉仕活動では、田ヶ谷と西之谷の老人クラブでプール清掃をやってくれた。自分は一日おきに学校へ行っている。アルミ缶回収もただ回収するだけではなくて、5、6先生の担任の先生に、アルミ缶をリサイクルすると70%の電力が節約できるといった内容を説明してもらおうようお願いした。
- ・小1、小6、中1の子どもがいるが、城東保育園の時の友だちはそのままうまく馴染んでいる。中幼、佐東幼との繋がりが無い。一緒にやっていくことは必要ではないか。
- ・宿泊訓練をやったが、交流があったからこそ結びつけた。今20歳の子が小学生の時に第1回の学園化構想に参加した。ボランティアの派遣で人が集まらず苦勞していたが、今は結果的に結びついている。根付いている。ボランティアが中学校に入ることに門が低くなった。ハードルが下がっている。
- ・ふれあいは継続してほしい。中小保それぞれの活動、交流の仕方をどうしていくか。自分の子どもも学童保育を利用しているが、他の友だちと遊びたがっている。家が中地区でも一番外れであるので、一貫教育によってバス通学になると安心。新潟の事件もあったので早くしてほしい。地域の見守り活動はありがたい。
- ・幼稚園と小学校が同じプールで交流した。小学4年生が小さい子の面倒を見る。
- ・先日、中学校で生徒20人とボランティア15人で花壇に花を植えた。趣旨は良いが、もう少し工夫が必要だと思った。

【その他御意見】

<施設見学について>

- ・施設を考える際に、最新の施設を見学することが必要に思われる。市教委で学校見学等計画していただきたい。
→検討し、施設見学ができる様に計画していく。

<地域意見交換会について>

- ・地域意見交換会を1月に行ってから、開催されていない。いつ開催するのか考えを聞かせてほしい。
- 検討委員会である程度、方向性が決まった上で、地域意見交換会を開催する予定でした。意見交換会の開催について、市教委で検討していきたい。
現在、保護者説明会を行っており、保護者の考えを聞かせていただいているところである。

8 連絡事項

(1) 今後の予定について

- ・第5回地域検討委員会 平成30年7月11日(水) 19:00～

(2) 新たな学園づくり保護者説明会

- ・佐東幼稚園
平成30年5月24日(木) 11:00～12:00 佐東幼稚園
- ・中幼稚園
平成30年5月29日(火) 13:00～14:00 中幼稚園
- ・土方幼稚園
平成30年5月31日(木) 13:00～14:00 土方幼稚園
- ・中小学校
平成30年6月2日(土) 10:00～11:30 中地区防災センター

9 閉会